

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



## 今年のももの開花はいつ？



- 今年のももにおける日平均気温の月平均値は 1月:3.3℃(平年値3.1℃)、2月:5.7℃(平年値4.7℃)と平年並み～やや暖かい冬でした。
- ただし平均気温は期間ごとの寒暖の差が大きく、特に1月下旬には寒波が襲来し、最低気温は-8℃以下まで低下しました。
- 3月6日に発表された果樹試験場のもも開花予想では、今年の開花始めは、標高440mの果樹試験場において4月1日で、昨年より1日遅く、平年に比べて1日早くなっています(表)。
- なお、3月は気温の高い日が続く予報が発表されています。気温変化により予想結果は変動します。休眠期防除等の作業が遅れない様に、最新情報の入手をお願いします。

表. 令和5年ももの開花予想 (第2報、令和5年3月6日現在)  
<https://www.pref.yamanashi.jp/kajushiken/momokaika.html>

今後の気温推移	予想開花始め	昨年差(日)	平年差(日)
平年並みの場合	4月1日	1日遅い	1日早い
平年より1.2℃高い場合*	3月29日	2日早い	4日早い

予想地点は山梨市江曾原(標高440m)、品種は「白鳳」

\*モデル予測値: 気象庁HPの確立予測資料(1か月予報、甲府、3月4日~3月31日)より  
昨年の開花始め: 3月31日、平年の開花始め: 4月2日(平成13年~令和4年の平均)



## 人工授粉する花としない花



- スモモ、もも、オウトウ等は毛バタキやミスト機を使って人工授粉をします(写真)。
- スモモやオウトウで人工授粉が必要な理由は、自家不和合性という、同じ品種の花粉(自分の花粉)がめしべに付いても受精に至らない特性によります。
- 一方、ももは自家和合性で同じ品種(自分の花粉)でも受精出来ます。
- しかし、浅間白桃等の品種では花粉自体がない～少ないので、これらの樹が実をつけるためには、花粉を持つ品種から花粉を採取し、人工授粉する必要があります。



写真. ミスト機によるももの人工授粉作業(志田農園HPより、  
[https://eat-a-peach.jp/kouza\\_zyuhun1.htm](https://eat-a-peach.jp/kouza_zyuhun1.htm))